長野高校（国際教養科）シラバス

学校番号	321

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	改訂版日本史Ａ(山川出版社)						
副教材等	新詳日本史（浜島書店） 新日本史要点ノート標準編（啓隆社）						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史という時間軸を感じる
・歴史的事象に「なぜ」の視点をもつ
・近現代の歴史の展開を、現代の諸課題と関連付けて考察する。

２ 学習の到達目標

・諸資料に親しみ、歴史的思考力を培う。
・現代の諸課題を、近現代史を中心とする歴史と結び付け歴史的観点から考察することができる。
・日本の歴史を地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近現代史を中心とする日本の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	現代世界の諸課題を地理的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	近現代を中心とする日本の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	近現代史を中心とする日本の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	ワークシート レポート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査
	〔主題学習〕 振り返りシート	〔主題学習〕 レポート 報告会での発表内容	〔主題学習〕 ポスター	〔主題学習〕 内容のまとまり

※「主題学習」とは主題を設定して行う学習活動で、適切な時間を確保して行う。
⇒グループワークを取り入れ発表活動を入れる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	私たちの時代と歴史	・日本の近代・現代を振り返る	○	○	○	○	a:近現代の歴史的事象と現在の結びつきに関わる主題について関心を高めようとしている。 b:設定された主題について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:設定された主題について事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:設定された主題について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
	開国と明治維新	・アジアの激動と日本の開国 ・江戸幕府の滅亡 ・明治維新 ・富国強兵 ・明治初期の外交 ・殖産興業と文明開化 ・自由民権運動	○ ○	○ ○	○	○	a:欧米諸国のアジア進出、明治政府による諸改革に伴う社会や文化の変容、自由民権運動と立憲体制について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:開国から明治維新を経て近代国家が形成されるまでの過程の特質を見いだし、国際環境等と関連付けながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:欧米諸国のアジア進出、明治政府による諸改革に伴う社会や文化の変容、自由民権運動と立憲体制ついて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
	立憲国家の成立	・立憲制の成立 ・立憲政治の展開 ・日清・日露戦争 ・産業革命と社会の変容 ・明治の文化	○	○	○	○	a:条約改正や日清・日露戦争前後の対外関係の変化、政党の役割と社会的な基盤に関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:政党政治の推移の特質を見いだし、国際環境の変容などに関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d:条約改正や日清・日露戦争前後の対外関係の変化、政党の役割と社会的な基盤について理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

2学期	第一次世界大戦と日本・昭和の恐慌と満州事変・第二次世界大戦と日本	・政党政治の展開 ・ワシントン体制 ・経済・社会の変容 ・市民文化 ・恐慌の時代 ・政党内閣期の内政と外交 ・軍部の台頭 ・日中戦争 ・重化学工業化と統制経済 ・第二次世界大戦と太平洋戦争	○ ○	 ○ 	 ○ ○	○ ○	a:諸国家間の対立や協調関係と日本の立場、国内の経済・社会の動向、アジア近隣諸国との関係について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:二つの世界大戦との特質を見いだし、近代産業の発展と国民生活の変化に関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:諸国家間の対立や協調関係と日本の立場、国内の経済・社会の動向、アジア近隣諸国との関係ついての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
	占領下の日本	・占領と改革 ・冷戦の開始と講和	○	 ○	 ○	○	a:占領政策と諸改革、新憲法の成立、平和条約と独立、国際交流や国際貢献の拡大等について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:第二次世界大戦後の日本経済の発展と国民生活の変化の特質を見いだし、政治や対外関係の推移と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:第二次世界大戦後の政治や経済、国際環境、国民生活や文化の動向についての基本的な事柄を現代の諸課題と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

3学期	経済繁栄と保守長期政権・現代の世界と日本	・55年体制 ・高度経済成長期の経済と社会 ・冷戦の終結と日本 ・日本社会の変容	○	○	○	○	a:戦後の経済復興、高度経済成長と科学技術の発達、経済の国際化、生活意識や価値観の変化に関心を、意欲的に追究しようとしている。 b:日本経済の発展の特質を見いだし、国民生活の変化と関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:戦後の経済復興、高度経済成長と科学技術の発達、経済の国際化、生活意識や価値観の変化についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
	現代からの探求	〔主題学習〕 ・課題の設定 ・調査方法 ・資料収集 ・成果報告	○	○	○	○	a:現代の諸課題を、歴史的背景を踏まえて、地誌的に考察し日本の国土の特色と関連付けながら意欲的に追究しようとしている。 b:現代の諸課題を、歴史的背景を踏まえて多面的・多角的に地域の変容や構造を考察し適切に表現している。 c:現代の諸課題を、歴史的観点に基づく必要な情報を収集し図表にまとめたりしている。 d:現代の諸課題に関する知識を身に付けている。	レポート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。